

2022年7-9月期GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より11月15日(火)に公表予定の2022年7-9月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。
2022年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.8%)と予測します。

2022年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.8%)と4四半期連続のプラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+0.5%と予測する。物価高が家計の購買力を下押ししたものの、経済活動正常化が進み、緩やかな回復が続いたとみる。設備投資は、同+2.7%と予測する。先送りしてきた投資の再開に加え、デジタル化・脱炭素化への対応を見据えた投資も進んだとみる。

輸出は、中国・上海市のロックダウン解除、供給制約の緩和から、同+1.9%の増加を予測する。輸入は、内需回復を受け同+3.5%の増加を予測する。外需は▲0.3%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2022年7-9月期GDP速報 予測結果

単位: 断りがない限り 季調済前期比(%)	2021年		2022年		
	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP	▲0.4 (▲1.8)	1.0 (3.9)	0.1 (0.2)	0.9 (3.5)	0.4 (1.8)
民間最終消費	▲0.9	2.4	0.3	1.2	0.5
民間住宅投資	▲1.8	▲1.3	▲1.4	▲1.9	1.3
民間企業設備投資	▲2.0	0.2	▲0.1	2.0	2.7
民間在庫	寄与度 0.2	▲0.1	0.6	▲0.3	▲0.2
政府最終消費	1.1	▲0.3	0.4	0.7	0.2
公的固定資本形成	▲3.3	▲3.7	▲3.2	1.0	2.5
財・サービス 輸出	0.0	0.6	0.9	0.9	1.9
財・サービス 輸入	▲1.1	0.4	3.5	0.6	3.5
内需	寄与度 ▲0.6	0.9	0.6	0.8	0.8
民間	寄与度 ▲0.7	1.2	0.6	0.6	0.6
公需	寄与度 0.0	▲0.3	▲0.1	0.2	0.2
外需	寄与度 0.2	0.0	▲0.5	0.1	▲0.3
名目GDP	▲0.4 (▲1.5)	0.4 (1.8)	0.4 (1.7)	0.6 (2.5)	0.0 (0.1)
GDP デフレーター	前年同期比 ▲1.1	▲1.3	▲0.5	▲0.3	▲0.9
国内需要 デフレーター	前年同期比 0.6	1.1	1.8	2.6	2.7

注:シャドー部分が今回の予測値。
出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 菊池紘平 堂本健太

電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

メール:media@mri.co.jp
